

令和6年度 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年3月15日

事業所名：チャイルドデイケア「ケンパ井の頭」 保護者数（児童数）：8 回収数：4 割合：50%

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	3			1		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか。			4		職員の配置数が圧倒的に足りていません。利用者みんなが安心して預けられるように職員数を安定させていただきたいです。職員の不足により登園できていない児が数名いる	併設園との連携を強化し、配置改善を行います。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	2			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	2			2		
適切な支援の提供	1	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	3			1		
	2	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2			2		
	3	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	2		1	1		
	4	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2		1	1		
	5	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	2			2		
保護者への説明等	1	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	2	1		1		
	2	児童発達支ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」ねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	2			2		
	3	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）が行われているか。		1	1	2		
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	2			2		
	5	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	3			3		
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	1	1	1	1		
	7	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか		1	3		運営について少し不信感があります。まずは安心して預けられる場を作っていただきたいのですが、親子供達が置いてけぼりな話がどんどん出てきているようです。その中でも子供たちを思い大切に預かってくださる現場のみなさんには大変感謝しています。	法人、園としての運営の方向性等を保護者の皆様と共有できる体制を整備してゆきたいと考えております。
	8	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	2	1		1		
	9	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。		2	1	1		
	10	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	2			2		
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されてういるか。また、発生を想定した訓練を実施されているか。	2		1	1		
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2			2		
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか。	3			1		
	2	事業所の支援に満足しているか。		1	2	1	重複いたしますが、子供たちが楽しみにしている通所に安心してたくさん通えるように職員数を増やして安定させていただけますようお願いいたします。	子どもたちが、安心して楽しく通園できるよう、併設園との連携を含め、環境を整備してゆきます。

チェック項目			はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	4				
	2	職員の配置数は適切であるか。	3	1			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。 また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。	4				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。				児の体調や体質により、加湿器や三角マットを使用し居心地良く過ごせるようにしている	
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			課題や問題、保護者からの要望等については迅速に職員間で共有し話し合いを行っています。	
	2	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	3	1			
	3	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の室の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	4				
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1			R7年度 第三者評価実施を計画しています。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	4			法人内での研修や他園の職員との研修を行っています。	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			面談や送迎を通して保護者のニーズを把握し、希望に沿った計画を作成しています。	
	2	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4				
	3	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	4	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	4			計画・面談内容について職員間で共有しています。	
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			各職種が意見や今後の見通しを伝えながら行っています。	
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			日々の児の体調や様子に合わせた活動に変更し工夫しています。	
	7	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか。	4				
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	4			毎日朝礼を行い、その日の予定や役割分担を共有しています。	
	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	3	1		日中は都度声を掛け合い共有しています。	
	10	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			各職種が細かく日々の様子を記録し、情報共有しています。	
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	4			児発管との半年に1回以上のモニタリングと面談、その他必要時には面談を追加しています。	
	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	4			施設長・児発管を中心に参画しています。	

関係機関や保護者との連携	2	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	4			必要時、関係各所と連絡を取り合い情報共有・支援を行っています。	
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	4				
	4	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	4				
	5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			児童が通う他施設との連携を進めています。	
	6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1			
	7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	4			日々の活動の中で、併設保育所との交流を図っています。	
	8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	4			利用記録に活動内容や児の様子を詳細に記載し、送迎時・面談時にお話する時間を設けています。	
	9	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	2			
	10	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			送迎時や記録にて共有しています、	
	11	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	1	3			
保護者への説明責任等	1	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
	2	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4				
	3	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4				
	4	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携支援しているか。	3	1		年2回の保護者会や保護者参加行事を開催しています。	
	5	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	6	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	3		行事・活動について、記録やお知らせとしてお手元に配布しています。	
	7	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	4				
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
	9	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3			感染症に配慮し、ケンパ井の頭の児童育成支援事業と協力し進めてゆきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1			
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			月1回以上の避難訓練・不審者対応訓練を実施しています。	
	3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			入園時に確認しています。 服薬内容に変更がある場合には随時見直しお預かりしています。	
	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		給食利用の児については核にしています。その他の児は家庭から持参し栄養摂取しています。	

対応	5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	4				
	6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			外部研修や法人内での研修を実施しています。	
	7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			計画への記載と面談時お伝えし、保護者にご納得いただいています。	